

多摩部の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

No.2 多摩部の公園で見られる春の樹の花



バラ科

●ソメイヨシノ (染井吉野)

●特徴：花が葉より先にさく
●花の大きさ：3~4cm
3~4月にうすいピンク色の花がさきます。人が作ったサクラで、自然にふえることはできません。公園などにあるものは、全て人が植えたものです。



バラ科

●ヤマザクラ (山桜)

●特徴：赤い葉と同時にさく
●花の大きさ：3~4cm
3~4月に白~うすいピンク色の花がさきます。日本のサクラで、太さが1m以上になる大きな木もあり、昔から和歌に使われるなど愛されてきました。



バラ科

○オオシマザクラ (大島桜)

●特徴：緑の葉と同時にさく
●花の大きさ：3~4cm
3~4月に白色の花が3~4個集まってさきます。他のサクラとくらべると花が大きいです。葉にもかおりがあり、さくらもちをつつむのに使われます。



バラ科

○ウワミズザクラ (上溝桜)

●特徴：花のじくに葉がつく
●花の大きさ：約6mm
4~5月に白い花がブラシのような形に集まってさきます。日本全国の日当たりのよい林で見られます。夏に赤い実がなり、果実酒などに使われます。



バラ科

○イヌザクラ (犬桜)

●特徴：花のじくに葉がない
●花の大きさ：約6mm
5月にウワミズザクラとよく似た花がさきます。他のサクラよりも木の皮が白っぽく見えます。北海道より南にある日当たりのよい林に多く生えています。



モクレン科

○コブシ (拳)

●特徴：花の下に葉が一枚
●花の大きさ：6~10cm
3月末~4ごろに白い花がさき、花の下に小さな葉が一枚ずつ付いています。都内の丘陵地にふつうにあります。小宮公園には大木があります。



ブナ科

●コナラ (小檜)

●特徴：若葉は銀色に見える
●花の大きさ：約3mm
4~5月に黄色っぽい花をさかせます。雌花は葉の根元につき、雄花はひものように集まります。武蔵野の林を代表する木で、公園にも多いです。



ブナ科

●クヌギ (栲・椴・欒)

●特徴：若葉は黄色っぽく見える
●花の大きさ：約3mm
4~5月にコナラとよく似た花をさかせます。葉に針のような細かいギザギザがあります。コナラと同じように、武蔵野を代表する木です。

かお 花の香り

春に咲き始めたたくさんのお花。色や形だけでなく、香りも楽しむことができますね。虫に花粉を運んでもらう花にとって、香りは虫を集めるためにとっても大切なもの。ハチは良い香り、ハエはちょっと変わった香りなど、種類によって集まる香りも違ってきます。

一方、コナラやクヌギ、シデの仲間など、風で花粉を飛ばす花は虫に来てもらう必要がありません。そのため、花は地味で香りもないんです。

どんな方法で花粉を運んでもらうか。それによって、花の香りも違ってきますね。

